

「全国大会等における感染防止対策 球場運用細則」(2022.3.6)

= 球場運営・出場チームマニュアル (改訂) =

《球場運営》

- ① 役員及び球場運営を行う者は試合開始の約 2 時間前(原則)に球場に到着し準備を開始する
- ② 連盟旗、日の丸旗、読売新聞社旗、報知新聞社旗、横断幕類を球場に掲揚する
- ③ 本部受付、球場出入口へ体温計、アルコール消毒液、手洗いハンドソープ等を設置
- ④ 放送、ビデオ配信等の設備をチェックして試合開始に間に合うように準備する
- ⑤ 球場へは以下の人員を密にならないように配置して球場運営を行う
 - 本部席、放送席、審判控室、スコアボード、スコアラー、球数制限管理責任者等
 - 本部受付、球場出入り口にて検温するとともに関係者以外の立入りを断る
 - 観客席、ビデオ配信等に人員を複数名配置し、密やマスク着用等の注意喚起
 - その他、グラウンド整備、湯茶類接待、旗類掲揚のための要員
- ⑥ チーム到着時にチーム代表に対し以下の書類提出を求める
 - 「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」各 2 部
(大会のご案内 添付-別紙 3-1~3)
 - 「オーダー表」、「役員・指導者・選手登録証」
 - 「健康管理実施状況申告書」(大会のご案内 添付-別紙 2)
※初日のみ提出される
 - 大会 2 日目以降は「投手投球数記録表(正)」及び「投手投球数記録表(副)」
- ⑦ 「大会参加同意書」(大会のご案内 添付-別紙 1)はチームを通じて支部長へ提出済み
- ⑧ チームの本部挨拶はしないことなど「新ガイドライン」「新型コロナの対応について」などの感染対策について遵守を依頼する
- ⑨ 球場における保護者等観客への注意事項やアルコール消毒液等の設置場所を説明する
- ⑩ 到着チームに対して、「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」に基づいて、本部受付やチーム待機場所等にて、密を回避して一人ひとり検温するとともにシール等を配布して貼ってもらい大会関係者であることを示す
- ⑪ 審査は、コロナ前と同様に前試合の4回終了までに整列して行う。但し、選手は氏名、生年月日を発声しないで提出された「役員・指導者・選手登録証」、「オーダー表」と「登録役員・選手名簿」とを照合する。投球数制限についても「投手投球数記録表(正)」及び「投手投球数記録表(副)」により、あらかじめ確認しておく。
なお、道具審査はチーム責任者立ち合いのもと実施する。
- ⑫ 資格審査時に選手、監督、審判を整列させて、「新ガイドライン」に基づく感染防止対策について説明する

- ⑫ 役員及び球場責任者は、感染防止対策として、マスク着用、手指消毒の徹底、密にならないことを常に大会参加者に対して注意喚起や試合終了後、速やかに解散しないチームに対して解散を促す。「新ガイドライン」に沿って感染防止対策を実施する。遵守していないチーム等には厳重注意すること(大会本部へ要状況報告)

《試合出場チーム》

※下記の事項が守られない場合は、無観客試合といたします。

[集合時]

- ① 宿舎または集合場所で検温を行ない、「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」に参加者名、選手等の参加種別及び測定結果を記載する。参加者は、選手25名以内(小学部20名以内)、指導者5名以内、保護者及びチーム関係者50名以内とする。
- ② 宿舎または集合場所より大会会場へ移動する際は乗用車以外の観光バス、マイクロバスについては、乗車定員数の半分とする。マスクは着用、換気、車中の会話など「修正新ガイドライン(2022.3月改訂版)」3-(2)③④⑤について遵守徹底する

[大会会場到着時]

- ① 大会会場へは1時間前に到着すること。それより以前に到着しないように努める。1時間前よりも早く到着した場合は、大会会場には立ち入らず、密にならないように待機する。
- ② 会場到着後、本部挨拶は行わない。速やかにチーム責任者が到着した旨を本部に伝える。
- ③ チーム責任者は大会会場到着後、速やかに球場責任者に対して、大会初日は「健康管理実施状況申告書」を提出する。また、「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」(各2部)及び「選手登録証」「役員・選手登録名簿」「オーダー表」は、大会時は毎日提出する。※大会参加同意書は事前にチームを通じて支部長へ提出、また、チームは同意書を確認の上、大会出場選手を選出すること。
- また、大会2日目以降は、「投手投球数記録表(正)」及び「投手投球数記録表(副)」を提出する。資格審査は会場本部にて提出された「役員・指導者・選手登録証」等により整理して審査する
- ④ 球場に到着後も選手含め必ず全員マスクを着用する
- ⑤ 大会参加者は、役員または球場責任者の指示に従い、大会会場内で検温を実施し、シール等を見えるところに貼り、大会参加者であることを明示する
- ⑥ 大会会場の待機場所においても密にならず「新ガイドライン」を遵守する

[球場入場時]

- ① 役員、指導者、選手全員に検温、アルコール消毒を実施する。観客席も同様とする。なお、球場によっては観客席がない場合や観戦できないこともあり、その場合の待機はチーム代表が「新ガイドライン」に沿って待機を指導する
- ② 役員、指導者、選手は、マスクを着用し、密にならない様に間隔をあけて入場する

- ③ 道具審査はチーム責任者立ち合いのもとに審査を受ける
- ④ 出場選手以外は全員マスク着用
- ⑤ 消毒用アルコール等をベンチ内に持ち込むこと

〔試合開始、試合中〕

- ① 試合前挨拶はマスク着用の上、対戦相手とは2m以上あけてホーム前に整列する。
- ② 球場責任者より試合開始に先立ち「新ガイドライン」に基づく感染防止対策について説明を受ける。試合開始の審判による両チームの挨拶は、声を出さず脱帽、礼のみとする。ホーム前での試合終了時の挨拶も同様に声を出さず脱帽、礼をもって挨拶とする
- ③ 「新ガイドライン」に沿って試合に出場している選手以外は全員マスクを着用。ベンチ内では出場している選手もできる限りマスク着用を心がけるとともにベンチ内では全員出来る限り人との間隔をあける
- ④ 捕手のマスクは、交代時に必ずアルコール消毒を行う。また、キャッチャー道具の補助者は必ずマスク着用
- ⑤ メガホンの使用や大声での指導、ハイタッチ等は禁止
- ⑥ 飲み物は、一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止
- ⑦ 観客席の保護者等大会参加者は座席を開けて座るなど密にならずマスク着用、メガホンや大声での声援は禁止する。球場責任者等による指導に対して聞き入れない場合は役員・球場責任者が協議を行ったうえで大会参加を取りやめていただき退場処分とする

〔試合終了後〕

- ① 試合終了後はベンチ内を持参した消毒用アルコールで消毒する
- ② 消毒後、速やかにミーティング等を行わずベンチを開けること
- ③ 試合終了後は、観客席の応援チームでスタンドの清掃、消毒を行ない退場する
- ④ 勝ったチームのチーム責任者は本部に「投手投球数記録表(副)」を提出し、球場責任者の確認後「投手投球数記録表(正)」を受け、翌日の大会会場へ持参する
- ⑤ チームミーティングは、行わず速やかに大会会場から宿舎等へ移動すること。なお、ダブルヘッダーで出場する場合は、球場責任者の指定する待機場所で「新ガイドライン」に沿って、昼食をとるなど感染防止対策を講じて、次の試合まで待機する。